

2020年度  
賢明学院高等学校  
入学試験

2020. 2. 10実施

国 語

(50分)

- ・ 答えはすべて解答用紙に記入すること。
- ・ 字数制限があるすべての設問において、句読点など文章記号は字数にふくめます。
- ・ 問題文は、設問の都合上、一部省略・表記を改めたところがあります。

受 験 番 号

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ナイチンゲールが戦地で見たもの。それは、床が腐り、壁には汚れと埃がこびりつき、いたるところに害虫が這いまわる、あまりに不衛生な病院でした。空気を入れ換えることもできず、鼻をつくような悪臭が立ちこめていたといえます。

I、医療器具や薬品が足りないのはもちろんのこと、ベッドも燃料も足りず、石鹸にタオル、お皿や洗面器、スプーンやフォークといった日用品まで不足している、とても病院とは呼べない惨状です。

この戦地の病院で、ナイチンゲールは不眠不休ともいえる熱心さで、患者たちの看護にあたりました。傷を負った無数の患者たちに、ホウタイを巻くため、8時間もひざまずきました。そして最初の冬だけで2000人もも臨終につき添い、重態の患者ほど彼女自身が看護にあたりました。あたりがまっ暗になった深夜、ランプを掲げて院内をひとり巡回する彼女の姿は、「ランプの貴婦人(ランプ・オブ・レディー)」として後世にまで語り継がれることになりました。【A】

しかし、このときナイチンゲールは、看護よりもずっと大切な「仕事」に着手していました。のちに彼女は、「看護の仕事は、わたしが果たさねばならない仕事のなかで、もっとも重要度の低いものだった」と振り返っています。

ナイチンゲールが取り組んでいた、ソウダイな「仕事」とはなんだったのか？

その全貌が明らかになったのは、クリミア戦争が終結し、彼女がイギリスに帰国したあとのことでした。

当時、新聞などを通じて「クリミアの天使」ナイチンゲールの。カツヤクは、イギリス国内でも連日のように報道され、彼女は国民的なスターになっていました。そうした喧騒を嫌うように、偽名を使ってひっそりと帰国したナイチンゲールは、さっそく大きな仕事に取りかかります。

戦場にもむいた兵士が、亡くなってしまふこと。つまり戦死すること。【B】

この「戦死」という言葉を聞いて、みなさんはどんな姿をイメージしますか？

銃弾や砲撃にさらされ、その傷が原因で亡くなってしまふこと。戦死者とは、とうてい助からないような深い傷を負って亡くなった人のことだ。きっと、そんなふうを考えるのではないでしょうか？ 少なくとも当時のイギリスの「常識」はそうでした。

II、ナイチンゲールが戦地で見た現実、まったく違います。

前線で負傷した兵士たちが、不衛生極まりない病院に送り込まれる。医療物資も生活物資も足りない、いたるところにダニやシラミがうごめくような病院に、押し込まれる。ここで感染症に罹患することによって、本来は助かったはずの命が失われていく。戦場の兵士たちは、戦闘によって亡くなるのではなく、劣悪な環境での感染症によって亡くなっていくのだ。【C】

当然、彼女としては、政府に対して「戦地の衛生状態を改善してほしい」と訴えなければなりません。数多くの兵士が、戦闘とは直接関係のないところで亡くなっているのです。このまま放置するわけにはいかないでしょう。

しかしこれは、政府や陸軍に対して「あなたたちは兵士を無駄な死に追いやっている」と告発することでもあり、政治的なスキヤンダルにもつながりかねない話でした。おそらく普通のやり方で改善を求めても、認められないでしょう。

そこでナイチンゲールが使った武器が、看護師の道に進む以前、ずっと学んできた数学であり、統計学だったのです。

最初にナイチンゲールは、クリミア戦争における戦死者たちの死因を「感染症」と「負傷」、それから「その他」の三つに分類し、それぞれの数を月別に集計していきました。【D】

その結果、たとえば1855年1月の場合、感染症による死者が2761人、負傷による死者が83人、その他の死者が324人となっています。

III、負傷を原因とする死者の30倍以上もの兵士たちが、感染症によって亡くなっていったのです。

しかも彼女は、戦死者の数を集計しただけではありません。きつといま、みなさんも知らず知らずと数字を読み上げられて「ちょっと面倒くさいな」とか「なんとなくイメージしづらいな」と思ったことでしょうか。数学や計算が苦手な人は、たくさんの数字が並んでいるだけでうんざりしてしまうものです。

そこで彼女は、「コウモリの翼」と呼ばれる独自のグラフを考案し、死因別の死者数をひと目でわかるようにビジュアライズしました。当時はまだ、棒グラフも円グラフも「フキユウ」していなかった時代。それでもたくさんの人にこの事実を知ってもらおう、理解してもらおうと、まったくオリジナルのグラフをつくったのです。【E】

ほかに、当時イギリスでもっとも不健康な街とされていたマンチェスター市と死亡率を比較したり、兵士たちの年齢別死亡率をイギリスの平均値と比較したり、兵舎とロンドンの人口密度を比較したり、さまざまな統計データを揃えました。

こうしてナイチンゲールは、ヴィクトリア女王が直轄する委員会に1000ページ近くにもおよぶ報告書を提出します。②どんな権力者であろうと反論できない、客観的な「事実」を突きつけたわけですね。

その結果、戦場や市民生活における衛生管理の重要性が知れ渡り、看護師という仕事が再評価され、感染症の予防にも大きく貢献していくことになりました。

報告書の提出後も、彼女はベッド数から天井の高さ、窓の数までを細かく指導して感染症が蔓延しにくい病院(ナイチンゲール病棟)を建築設計

したり、看護師学校を設立したりと、精力的に活動していきます。

もし、彼女が数学や統計学の素養をもたない、善良なだけの看護師だったなら、目の前の患者を助けることに精いっぱい、医療態勢や衛生管理の構造的な欠陥に気づくこともなかったかもしれません。また、仮に気づいたとしても、それを裏づけるデータがなければ彼女の意見に耳を貸す人はいなかったはずで。

戦場の兵士たちを救い、不衛生な環境に暮らす人々を救い、イギリスはもとより世界の医療・福祉制度を大きく変えていったのは、看護師としてのナイチンゲールではなく、統計学者としてのナイチンゲールだったのです。

(瀧本哲史『ミライの授業』より)

問一 傍線部 a～d について、カタカナを漢字に直しなさい。

問二 I ～ III に当てはまる最も適切な語句を次のア～オの中から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア さらに      イ ところで      ウ つまり      エ ところが      オ こうして

問三 次の一文を入れるのに最も適切な箇所を本文【A】～【E】の中から一つ選び、記号で答えなさい。

それがナイチンゲールの結論でした。

問四 傍線部①「看護よりもずっと大切な『仕事』とは、どのようなことですか。本文中の言葉を用いて三十字以内で答えなさい。

問五 傍線部②「どんな権力者であろうと反論できない、客観的な『事実』を、ナイチンゲールは、何を使ってつくりだしましたか。本文中の言葉五字で答えなさい。

問六 次のア～オの中で、本文の内容と合っているものは○を、間違っているものは×をそれぞれ答えなさい。

ア ナイチンゲールは、クリミア戦争で8時間もひざまづいて兵士の手当をしたことで「ランプの貴婦人」とよばれるようになった。

イ ナイチンゲールは、戦争で負傷した兵士たちの劣悪な環境を改善したことで「クリミアの天使」と呼ばれ、多くの命を救った。

ウ ナイチンゲールは、深夜でも献身的に負傷した兵士に付き添い、その姿はイギリス国民の感動を呼び、国民的なスターとなっていた。

エ ナイチンゲールが偶然発見した構造的な欠陥によって、衛生管理の重要性が知れ渡り、世界の医療福祉制度が大きく変わった。

オ ナイチンゲールは、戦地での衛生状態の事実を多くの人に知ってもらうために、死因別の死者数がひと目でわかるグラフを作成した。

【二】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昨年度受け持ちクラスを学級崩壊させてしまった新米教師の「ぼく」は、四年二組を新たに担任することになった。しかし、この二組でも、多くの生徒が問題を抱えていた。

火曜日、清水さんはやっぱり来なかった。

大熊さんはあいかわらず、ぼくの授業に①茶々を入れた。

女子グループはおしゃべりをやめなかった。

神田さんはミートソーススパゲッティをおかわりした。

②ぼくは、帰りの会のときに、宿題を出すことにした。

「このごろ、みんなはとても落ち着きがありません。先生はもう、怒るのにつかれました。」

ぼくが、まだいくらかかすれた声で話しはじめると、こどもたちはみんなぼくを見た。驚いた。

できるじゃないか。みんなをふりむかせる言葉。みんなの気持ちをひとつにする言葉。ぼくにだって。

「そこで、みんなに、むずかしい宿題を出すことにしました。」

えーっという声。でも、こんなにみんなの声がそろったのは久しぶりだ。神田さんさえ、口を大きく開けている。

「その宿題は、家族に抱きしめられてくること、です。」

もっと大きな、えーっという声。でも、顔はわらっている。顔を見合わせて、わらいだしたこどもたちもいる。

I

「先生エッチー」

「変態じゃん」

「絶対無理」

口々に文句を言うが、顔はわらっている。なかでも大熊さんは立ち上がって不平を述べている。でもその顔はわらっている。ぼくはかまわずにもう一度言った。

「はい、今日の宿題は、家族に抱きしめられてくること。だれでもいいです。おとうさんでもおかあさんでもおばあちゃんでもおにいちゃんでも。妹にでもいいです。」

「猫にでもいい？」

大熊さんがまぜかえず。

「猫とか犬はだめです。人間の家族だけです。家族のだけれかに、ぎゅっと抱きしめてもらってください。明日、宿題ができたかどうか、ききますから、忘れないようにしてください。」

まだおさまらないざわめきの中、<sup>③</sup>日直があいさつをした。

ぼくは神田さんを見た。神田さんだけは、わらっていないかった。

あくる朝、朝の会でぼくは右手を上げながら、きいた。

「はい、宿題をやってきたひと―」

こどもたちは顔を見合わせ、照れくさそうにわらいながら、ばらばらと手を上げた。でも全員じゃない。

「あれ？大熊さんは宿題、しなかったの？」

Ⅱ

大熊さんは机に腕をついて言った。その顔が赤い。

「そうか、残念だなあ。大熊さんのおかあさんに後で電話しておくよ。宿題を手伝うように。」

大熊さんはぼつと体を起こした。

Ⅲ

「ほんとに？」

大熊さんの顔は真っ赤になった。

「大熊さん、顔赤ーい。」

Ⅳ

まわりの男子が口々に言う。

Ⅴ

大熊さんにならまれて、こどもたちはそっぽをむいた。その顔も赤い。

ぼくは大熊さんの母親の顔を思いだした。長い金髪をひつつめて、いつもせかせかと急いでいる。ヨブな肉の全くない、とがった横顔。大熊さんの他にこどもが三人いて、父親はいない。宿題だからしかたなく、抱きしめてくれたんだろうけど、抱きしめ、抱きしめられたとたんに、なにかがかわったはず。しかたなく抱きしめているわけじゃないことに、気づいたはず。大熊さんも、あらためて抱きしめられたことなくても、母親に見守られながら育ってきたことを、思いだしたはず。

はずかしがって手を上げなかったほかの男の子も、その頬の色を見れば、にやにやわらいを見れば、<sup>④</sup>だった。二組のこどもたちはみんな、宿題をやってきていた。

授業がはじまって、女子グループはおしゃべりをはじめなかった。友達の悪口を言う気になれなくなったのだろう。自分が親から愛されているように、悪口を言われる子だって、親から愛されている。

大熊さんも、すっかりおとなしくなってしまう。手のかかる第三人の面倒を見させられるだけの自分ではないことに気づいたのかもしれない。自分ばかり我慢しているわけじゃない。いろんな我慢は、母親のためにしていると誇りを持ってほしい。

そんなハグのコウリもヨクも四時間目になるころには、ウスれてきて、大熊さんが授業に茶々を入れてきた。でも、ぼくはかまわなかった。にくたらしい大熊さんにも、抱きしめてくれる家族がいる。ひそひそ話をはじめた女の子たちにも、ひとりひとりに、かけがえのない娘と思つて抱きしめてくれる家族がいる。そう思えば、こどもたちがかわいく思えた。

こんな気持でこどもたちにむかいあったのは、はじめてだった。今までぼくに足りなかったところに、やっとぼくは気づいた。

もちろん、大熊さんのいたずらや女子のおしゃべりがなくなったわけじゃない。ぼくの力不足はわからない。

⑥ただ、ぼくははじめて気づいた。

こどもは、ひとりひとり違う。ひとりひとりが違う家に育ち、違う家族に見守られている。そして、学校にやっできて、同じ教室で一緒に学ぶ。一枚のTシャツだって、一本の『エンピツ』だって、この子のためにだれかが用意してくれた。そのひとたちの思いが、この子たちひとりひとりつまっている。

そのだれかは、昨日はこの子たちにごはんを食べさせ、風呂に入れ、ふとんで寝かせ、今朝は朝ごはんを食べさせ、髪をくくったりなでつけたりして、ランドセルをしょわせ、学校に送りだしてくれたのだ。

そんなあたりまえのことに、ぼくはやっと気づいた。

ぼくは、この思いにこたえられるのだろうか。

目の前のこどもたちが、輝いて見えた。だれかの愛情につつまれた、かけがえのないこどもたち。でも、ひとりだけ、ずつとうつむいたままで、なにもかわらなかつたこどももいた。

神田さんだった。

神田さんは、給食のひじきごはんをおかわりして食べた。みんながあまり好きではない献立なので、気兼ねなくおかわりできる。

神田さんだけ、宿題ができていなかった。

(中脇初枝「サンタさんの来ない家」より)

問一 傍線部 a～d について、カタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部①「茶々を入れた」とありますが、「茶々を入れる」とほぼ同じ意味のことばを本文中から五字で抜き出して答えなさい。

問三 傍線部②「ぼくは、帰りの　　宿題を出すことにした」とありますが、「ぼく」が出した宿題とは何ですか。十五字以内で答えなさい。

問四 傍線部③「日直があいさつをした」を、単語に分けた時、いくつに分けることができますか。算用数字で答えなさい。

問五 本文中の I V にあてはまる会話を次のア～エの中から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号は使えないものとする。

ア おまえらだつてしてもらったんだろっ

イ したよ！宿題しました。

ウ ママにだっこしてもらったのー？

エ なにそれー

オ しないよ。そんな宿題。

問六 ④ に入る四字熟語を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言語道断　イ 一目瞭然　ウ 自業自得　エ 因果応報

問七 傍線部⑤「ただ、ぼくははじめて気づいた」とありますが、「ぼく」が気づいたのはどんなことですか。四十字以内で答えなさい。

問八 次のア～エの中から、A「大熊さん」、B「神田さん」について説明したものを一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 落ち着きがなく忘れ物も多いが、人一倍食欲が旺盛おうせいで、毎回、給食をおかわりしている。

イ 両親の愛情が、兄弟に向いているという苛立いらだちから、常に「ぼく」に反抗的な態度をとっている。

ウ 家庭環境に問題を抱え、適切な子育てを親が放棄しているらしく、常にお腹をすかせている。

エ 兄弟が多く、母親からの愛情や関心が自分に向いていないように感じ、寂しさを抱えている。

【三】次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

ある在家人、山寺の僧を信じて、※世間・出世深くたのみて、病む事もあれば薬までも問ひけり。この僧、※医骨も無かりければ、よろづの病に「藤のこぶを※煎じて召せ」とぞ教へⅠ。これを①信じてもちゐるに、よろづの病癒えざる無し。

ある時、馬を失ひて、「いかげ仕るべき」と言へば、例の「藤のこぶを煎じて召せ」②と言ふ。心得がたけれども、やうぞあるらんと信じて、あまりに取り尽くして④近々には無かりければ、山の麓を尋ねける程に、谷のほとりにて、失せたる馬見付けてけり。これもⅡの致す所なり。

(『沙石集』より)

※世間・出世：俗世間のことと仏道のこと。

※医骨：医術の心得。

※煎ず：薬草などを煮、その成分をにじみ出させる。

問一 二重傍線部 a・b の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに改めなさい。

問二 Ⅰに入る適切な語を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア けら イ ける ウ けれ エ けり

問三 傍線部①「信じて」・②「と言ふ」の動作主を、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア ある在家人 イ 山寺の僧 ウ 馬 エ 作者

問四 傍線部③「やうぞあるらん」の現代語訳を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア お金が必要のだろう イ 出家するのだろう ウ 日なたに居るのだろう エ 理由があるのだろう

問五 傍線部④「近々には無かりければ」とありますが、何が近くに無かったのですか。本文中の言葉を五字以内で抜き出し答えなさい。

問六 Ⅱに入る適切な語を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 武 イ 信 ウ 幸 エ 運

【四】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

あなたは職場見学で警察署に行き、署長にインタビューをしました。

あなた「最近、自転車は歩道ではなく、車道を走るように言われていますね。あれはなぜですか？」

署長「自転車は『車両』だから、という理由もあるけど、それより、歩道を走るとね、歩道を歩いている人に危害を加えてしまうことがあるからなんだよ。例えばこの前、こんな事故があったんだけど、(A)。こんな事故を起こさないためにも、自転車は歩道ではなく、車道を走ってほしいね。」

あなた「では、最近、高校生を見ていて気になったことはありますか？」

署長「最近、パトロールをしているとね、夕方、よく携帯電話で話しながら自転車に乗っている高校生がいるんだよ。最近の高校生にとって携帯電話は欠かせないものになっているから、自転車に乗っているときにもつい使ってしまうだろうね。でも、これが危ない。うす暗い夕方の道で、片手運転は非常に危険なんだ。」

問一 (A)に当てはまる言葉を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 歩道の点字ブロックの上に停めてあった自転車に、歩いてきた目の不自由な方がぶつかってしまったんだ

イ お爺さんが乗っていた自転車と、前からやってきた男の子の自転車とがぶつかってしまったんだ

ウ 犬の散歩をしていた女の人が、歩道に向こうから走ってきた自転車とすれ違いざまにぶつかって、転んで大けがをってしまったんだ

エ 雨の日に歩道を自転車で走っていた中学生が、水たまりでタイヤを滑らせて転んでしまったんだ

問二 あなたが署長に話の内容を確認するためにした質問として、署長の話の内容を正しく理解しているのはどれですか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ということは、我々高校生は携帯電話をあまり使わないようにしたほうがよいということですね。

イ ということは、我々は携帯電話を使いながら自転車に乗るべきではないということですね。

ウ ということは、我々高校生は、なるべく辺りがうす暗くなる前に家に帰った方がよいということですね。

エ ということは、我々は車道で携帯電話を使用しないほうがよいということですね。

